

創造的イルミネーション事業について

1 背景

(1) 社会的な要請

① 明日の日本を支える観光ビジョン（2016年3月に国が発表）

目標：2030年に訪日外国人旅行者数を6,000万人、訪日外国人旅行消費額を15兆円に拡大
→ その一環としてナイトタイムエコノミーを推進

② 「楽しい国 日本」の実現に向けて（提言）（2018年3月に国が発表）

新たな体験型コンテンツを観光資源として掘り起こす取組
→ ナイトタイムの有効活用：夜間における魅力ある体験型コンテンツの拡充
→ 公共空間の柔軟な活用：これまでの公共空間概念にとらわれない柔軟な活用

③ 横浜市中期4か年計画 2018～2021

人口減少社会が到来し、都市間競争が加速する中で、国内外からの交流人口、市内消費の拡大を目標の一つに設定 → 横浜市もナイトタイムエコノミー推進が強く求められている。

(2) 光や映像を使った都市空間の演出技術の革新

・光や映像を使った都市空間の演出技術の革新が進んでいる。ライゾマティクスやチームラボなど、こうした新しい技術を駆使した演出を手掛けるクリエイティブ企業が台頭しており、これら企業が手掛ける光や映像の演出は、世界からの注目度も高く、国内外から多くの人を集客している。

(光や映像を使った都市空間の演出技術の例)

- ・照明器具のフルカラーLED化
- ・プロジェクションマッピング
- ・LEDディスプレイ
- ・センサー技術やアプリ開発によるインタラクティブな演出
- ・IoTを活用した都市スケールでの照明の一括コントロール



(3) 世界の潮流

・世界の主要都市では、ナイトタイムエコノミーの推進、インバウンド拡大の観点から、新しい技術を駆使した時間限定の光の演出を、夜の観光コンテンツとして積極的に実施している。

(新しい技術を駆使した時間限定の光の演出の例)

- ・香港「シンフォニー・オブ・ライツ」
- ・フランス パリ エッフェル塔「シャンパンフラッシュ」
- ・シンガポール マリーナベイ・サンズ「SPECTRA」
- ・中国 深圳「深圳ライトショー」



(4) 横浜の夜間景観の状況

・横浜市は、これまで景観計画や景観条例等に基づくコントロールや歴史的建造物等のライトアップ推進により、落ち着いた美しい夜間景観を創出してきた。その結果、横浜夜景は、夜のデートや観光の定番コースになるなど、横浜の売りの一つになっている。

・一方、横浜の夜は暗い・早い、夜の魅力的なコンテンツがない、横浜に観光に来て東京や箱根で宿泊する観光客が多いとの声があるなど、ナイトタイムエコノミーという観点からは、さらなる工夫や施策が求められている。

2 趣旨・内容

以上の背景をふまえ、横浜の夜景をさらに際立たせ魅力的なものとするため、また夜の賑わい形成やインバウンドの拡大、ナイトタイムエコノミー活性化につなげる観点から、都心臨海部を対象に、下記の実現を目指す「創造的イルミネーション事業」に取り組む。

毎日夜8時から10分間の時間限定で、公民連携による最先端の技術を駆使した都市スケールの光の演出を可能とし、期間限定のイベントではなく、いつ横浜を訪れても日常の夜景と非日常の夜景の変化を楽しめるようにする。



その上で、「夜8時に横浜は変わる」をキャッチフレーズに、光以外のパフォーマンスやサービスなども含めて10分間の特別な時間をまちぐるみで展開することで、世界から人を呼べる横浜の夜の目玉観光コンテンツに育てていく。

3 実現に向けた流れ

上記の実現に向けて、次のような流れにより、実験イベントの実施やその効果検証、結果に基づく景観計画や景観協議の指針の見直し及び運用のあり方の検討、必要な手続きを進めていく。

令和元年度、2年度において、実験イベントを実施



実験イベントによる効果検証の結果や地域の意見を庁内及び都市美対策審議会でも共有し、景観計画や景観協議の指針の見直し及び運用のあり方を検討



景観計画や景観協議の指針の見直しが必要と判断された場合、変更のために必要な手続きを進める。

4 令和元年度の実験イベントについて

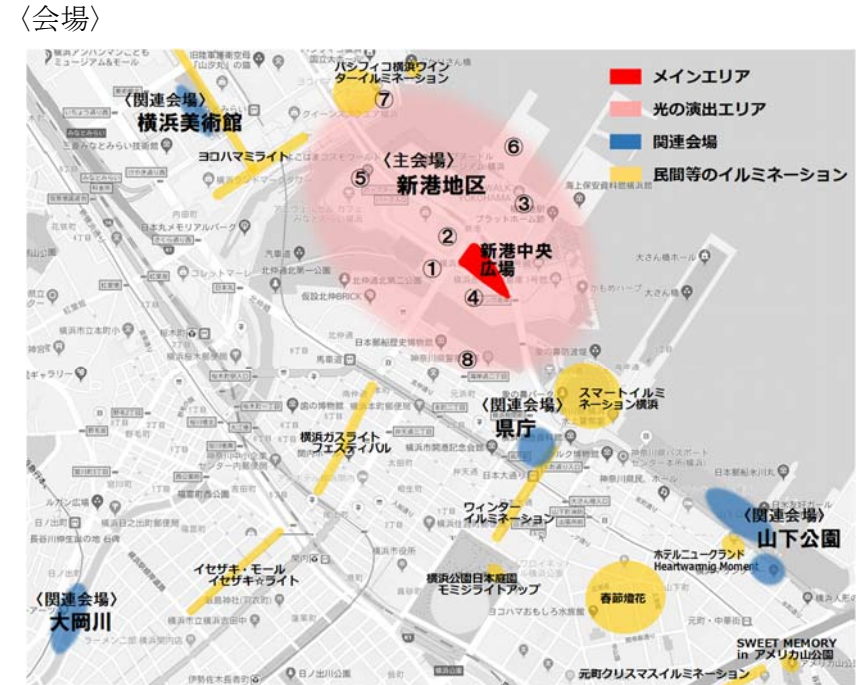
・別紙

創造的イルミネーション事業 令和元年度の実験イベントについて

・10月23日～12月27日の約2か月間、新港地区を主会場に、美しいイルミネーションと先端技術を駆使した都市スケールの光をシンクロさせた、横浜ならではのナイトタイムイベントを開催します。
 ・神奈川県警本部など新港中央広場周辺の8施設の協力を得て、毎日4回約10分間の特別演出を行います。また、4つの関連会場や民間等によるイルミネーションとも連携します。

1 実施概要

〈名称〉NIGHT SYNC YOKOHAMA
 〈期間〉令和元年10月23日(水)～12月27日(金)
 〈体制〉
 主催：クリエイティブ・ライト・ヨコハマ実行委員会
 共催：横浜市
 クリエイティブディレクター：
 齋藤 精一 (株式会社ライゾマティクス代表取締役)



【10分間の特別演出参加予定施設】

- ① ナビオス横浜 ◎
- ② 横浜ワールドポーターズ ◎●
- ③ MARINE&WALK YOKOHAMA ●
- ④ 横浜地方合同庁舎 (仮称) 建設予定地 ●
- ⑤ よこはまコスモワールド・大観覧車コスモクロック 21 ◎◎
- ⑥ 横浜ハンマーヘッド(新港ふ頭客船ターミナル) ○
- ⑦ ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル ◎●
- ⑧ 神奈川県警察本部庁舎 ◎

◎カラーライトアップ演出
 ○ライン照明カラー演出
 ●サーチライト演出

2 実施内容

(1) 主会場

①常時楽しめるイルミネーション (新港中央広場、18時～21時10分)



フラワーイルミネーションと樹木のカラーライトアップ

プロジェクションとセンシング技術を使った映像ステージで様々な体験型コンテンツを提供

〈映像ステージコンテンツイメージ〉

右のようなアート表現を中心に、スポーツを楽しめるもの、ゲームを楽しめるもの、人の動きに合わせて反応する体感型のものなどを想定



②10分間の特別演出 (新港中央広場+周辺8施設、18時・19時・20時・21時から各10分程度)



壁面のカラーライトアップとサーチライトによるダイナミックな光の演出

スマートフォン、WEB AR*技術を使った来街者参加型の演出

*WEB AR (拡張現実)：スマートフォンのカメラを通して、実際の風景にCG映像を付加して表示する手法

(2) 関連会場

① 神奈川県本庁舎 (神奈川県)



- ・本庁舎のカラーライトアップで10分間の特別演出に参加
- ・日本大通りでは、浮世絵アートウィーク 2019 を開催(10/26～11/3)

②山下公園 (環境創造局)



- ・沈床花壇「未来のバラ園」において、光の演出を実施(11/21～12/27 予定)

③横浜美術館 (文化観光局)



- ・カラーライトアップで10分間の特別演出に参加

④大岡川 (文化観光局)



- ・旭橋から黄金橋周辺で、水辺のライトアップイベントを開催(10/29～11/3)